



令和7年2月6日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米仏共同訓練（パシフィック・ステラー）について

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍及びフランス海軍と共同訓練を実施します。

1 目的

- (1) 海上自衛隊の戦術技量の向上
- (2) 海上自衛隊と参加国海軍との連携の強化

2 期間

令和7年2月10日（月）～2月18日（火）

3 訓練海空域

フィリピン東方海空域

4 参加部隊

- (1) 海上自衛隊：護衛艦「かが」、護衛艦「あきづき」、哨戒機「P-3C」
- (2) 米海軍：空母「カール・ヴィンソン」、巡洋艦「プリンストン」、
駆逐艦「スタレット」、駆逐艦「ウィリアム・P・ローレンス」、
哨戒機「P-8A」
- (3) フランス海軍：空母「シャルル・ド・ゴール」、フリゲート艦「アルザス」、
フリゲート艦「フォルバン」、駆逐艦「プロヴァンス」、
補給艦「ジャック・シュヴァリエ」、哨戒機「アトランティック」

5 訓練項目

各種戦術訓練（対空戦、対潜戦、LINKEX、クロスデッキ等）及び
PHOTOEX